

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2922号 2021年9月7日(晴れ) 第9回例会 会員数113名

オンライン例会

点 鐘 倉井 章会長
司 会 副SAA 飯村会員

◇国歌及びロータリーソング

※新型コロナ感染拡大防止のため割愛



ビジター紹介

渡邊幹事

◇卓話講師 宇都宮ブリッツェン運営会社
サイクルスポーツマネージメント株式会社
代表取締役副社長 廣瀬佳正様

会長挨拶

倉井 章会長

皆様、こんにちは。残暑の年も多い9月はじめですが、ここのところ肌寒い日が続き秋のような状況となっておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。栃木県は6日、新たに89人の感染を発表しました。1日あたりの感染者が2日連続2桁だったのは8月9日以来およそ1ヶ月ぶりです。福田知事は、県内の警戒度を判断する7指標のうち、5つは依然として最も深刻な「ステージ4」にとどまっているため、緊急事態宣言延長を要請しているようですが、12日で終了して欲しいと思います。

東京2020パラリンピックも、5日に閉会式が行なわれ、日本は金メダル13個を含む51個のメダルを獲得しました。自国での開催であったため、連日放送をしておりましたので、パラリンピックの競技の多さを改めて知ることが出来ました。また、多くの感動を頂きました。

今月9月は「基本的教育と識字率向上」及び「ロータリーの友」月間です。識字とは、文字を読み書きし理解できること、またその能力。読むとは、文字に書かれた言語の一字一字を正しく発音して理解できることを指し、書くとは、文字を

言語に合わせて正しく記すことを指します。何をもって識字とするかには様々な定義が存在するようですが、ユネスコでは、「日常生活で用いられる簡単で短い文章を理解して読み書きできる」状態のことと定義しているようです。文字に限らず様々な情報の読み書き、理解能力に言及する際には、日本語ではリテラシーという表現が利用されています。

リテラシーとは「物事を正確に理解し、活用できること」を表す語で、語源は英語の「Literacy」からきており、本来は「読み書きができる能力や知識」を指す言葉であります。ビジネス用語としては、仕事に対する遂行能力が高いか、低いかにいった評価をする場合によく使われます。リテラシーは単体で使われるケースもありますが「メディアリテラシー」や「ネットリテラシー」といったように、何かとセットになることが多く、例えば、メディアリテラシーは、テレビやインターネットなどで発信された情報を把握し、正しく使用出来る能力、ネットリテラシーは、インターネットで情報収集した内容を的確に活用する能力を指します。単にリテラシーと略して表現される場合は、メディアリテラシーやネットリテラシーを示す場合が多いのですが、他には、文化リテラシー、金融リテラシーといった語もあり、文化リテラシーは芸術や文学などの分野で人の心を動かせる能力のことであり、金融リテラシーは金融ルールや商品を幅広く網羅し活用できる能力のことで、株式や生命保険、仮想通貨などの知識の豊富な人を指すようです。ロータリーの友9月号に「リテラシーがもたらすもの」として、東京王子RCと岡山南RCの特集記事が載っておりますのでご一読ください。

8月29日にロータリー財団地区補助金説明会があり、ロータリー財団委員長の加藤会長エレクトにZoom参加して頂きました。今年の4月に申

請しておりました地区補助金、1,697ドルの支給が決定されております。2550地区の35のクラブが申請を行っており、我がクラブは、「知的発達障害児の放課後等デイサービスに通う児童への屋外活動促進プロジェクト」として、社会福祉法人恵友会 ばいん へ、子ども達が元気に遊べる遊具、バスケットゴールと鉄棒を寄贈する予定です。近いうちに目録の贈呈式を行いたいと思っております。

本日は、今年度初めてのゲスト卓話です。宇都宮ブリッツェン運営会社サイクルスポーツマネジメント株式会社 代表取締役副社長 廣瀬佳正様をお迎えしております。1992年から宇都宮森林公園で毎年開催されています「ジャパンカップサイクルロードレース」を見てプロの選手になられたと聞いております。廣瀬様、本日はよろしくお願いたします。

7月にスタートし、2ヶ月が過ぎました。コロナ禍の中、思うような活動が出来ずしておりますが、「笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、未来へつなぐ輪を広げて」をモットーに、残りの10ヶ月、出来ることをひとつずつ行なっていきたいと思っておりますのでご支援、ご協力、お願い致します。



幹事報告

渡邊和裕幹事

- ◇ロータリーレート 9月は1ドル110円。
- ◇いのちの電話から寄付への礼状届く
- ◇8月31日付け 丸田会員退会。



委員会報告

◇親睦委員会 谷田部委員長

<誕生祝い・9月>

会員誕生

原 賢一、稲見 京二、木平 健、
小林 利延、小野 誠、尾野崎孝夫、
櫻井 基雄、戸田 泰裕、辻 裕司、
若度 哲久、山本 修一

各会員

夫人誕生

金澤 正邦、松山 栄、櫻井 基雄、
田原 聖、手塚 正智、柳田 慎治、
吉田 努

各会員の奥様

◇伴 誠会員からご挨拶

父、伴清の葬儀に際しましては、多くの皆様にご参列を賜り誠にありがとうございました。また、多くの励ましの言葉、ご焼香、ご供花、お供物を頂戴し、誠にありがとうございました。ロータリー

歴49年の父は、11月2日の入会日で在籍50年を迎えることが目標でありましたが、その目前で旅立ったこと、さぞ、悔やんでいることと思えます。父にとってロータリークラブの活動は仕事であり、趣味であり、生きる支えでありました。クラブの皆様に支えられ、最後の最後までクラブの一員として過ごさせていただきまことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

「3分間スピーチ」

副SAA 飯村 尚志会員

本日は、自己紹介をさせていただきます。仕事は弁護士です。宇都宮東RCには2019年1月に入会し、昨年度は副幹事、今年度は副SAAをさせていただきますいております。

家族は妻と二人の子供がおります。出身は茂木町です。



周りに山や田んぼしかないような場所です。地元の小中学校を出た後、真岡高校に進学し、その後は仙台にある東北大学法学部に進学しました。大学生になり、自分が何をしたらよいかと考えたときに、人生一度きりなので、公務員やサラリーマンになって組織の中で働くよりは、自分自身の力でチャレンジできる仕事を選びたいと考え、弁護士という仕事に就こうと決意しました。大学を卒業後に東北大学の法科大学院にそのまま進学し、司法試験に合格しました。弁護士になった後は、東京の法律事務所に就職し、そこで3年ほど修業しました。このまま東京で暮らしていくのは肌にあわないと思い、地元である栃木県に戻って独立することにしました。

現在は飯村総合法律事務所という法律事務所を経営しています。今年で弁護士になって11年目となりますので、若手というより中堅にはいつか来たところかなと思います。

最後に趣味についてです。最近、仕事やこういった集まりにいそしみ、趣味といえるものはあまりない状況です。本日はサイクルロードレースに関する卓話ということで、少し関係するのですが、ちょうど一年前に自転車で運動しようと思いましたが、そろそろのお値段がするマウンテンバイクを購入したのですが、夏は暑いから、冬は寒いからという理由でなかなか自転車に乗らず、駐輪場に放置されています。今日の卓話を聞いて、自分の自転車熱をもう一度高めたいと思います。

今年39歳になりましたが、ロータリークラブではまだまだ若輩者ですので、今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します

※次回3分間スピーチは石田裕之会員

「ポール・ハリスとロータリー」動画鑑賞
－ 第2章 5カ年の「愚行」(前半) －
※ロータリーの友HPのアニメーション動画配信より



卓 話

「サイクルロードレースの可能性」



宇都宮ブリッツェン運営会社
サイクルスポーツマネジ
メント株式会社

代表取締役副社長
廣瀬佳正様

皆様、こんにちは。本日は「サイクルロードレースの可能性」というテーマでお話させていただきます。

－ パワーポイントにて説明 －

宇都宮ブリッツェンは今年で活動13年目となります。今年のチームのスローガンは「全輪駆動」で、選手、スタッフ、サポーター、スポンサー、気持ちをひとつにして日本一を目指しています。UCI 国際自転車競技連盟に国際チームとして加入しているプロチームで10名の選手が所属しています。実は10年前にこちらで卓話をさせていただいたことがあり、まだ立ち上げ2、3年目で、「必ず日本一のチームにしてみせます。」とお約束しました。約束も果たせましたので、10年ぶりのご報告とさせていただきます。本日は、前半は、チームの活動、成績の報告、後半はサイクルツーリズム、自治体が自転車を活用してどのようなまちづくりをしているかお話をさせていただきます。

宇都宮ブリッツェン活動、成績報告

- ・東京オリンピックサイクルロードレースにエース増田成幸選手が出場。日本人枠は2名と狭き門。武蔵野の森公園をスタートし、富士山を経由、富士スピードウェイでゴールする240kmの過酷なコース。日本人には完走が難しいといわれる厳しいコースだが、完走を果たす。
- ・ツアー・オブ・ジャパン
日本で行なわれている国際大会。増田選手が17年ぶりに、日本人としては2人目となる総合優勝を果たす。
- ・JCL ジャパンサイクルリーグ
今年新たにスタートした国内のツアーリーグ戦。開幕戦の真岡芳賀ロードレースで増田選手が優勝。2戦の宇都宮清原クリテリウムで

小野寺選手が自身4連覇。9月7日現在のツアーランキングではチームで総合2位、個人では増田選手が3位。今週末、山口県秋吉台でレースがあり、チーム一丸となってトップを目指す。

サイクルロードレースの可能性

コロナの影響で自転車業界がどのような形でコロナと向き合っているか、また、近年、自転車を活用したまちづくりが注目されていますので、ご紹介させていただきます。

以前から自転車ブームがありましたが、新型コロナウイルスの影響で2020年度の自転車販売市場は2,100億円を超え、2021年度に関しても前年度を上回る売り上げとなっております。「サイクルベースあさひ」や自転車のパーツメーカー「シマノ」でも過去最高の売上げでした。

- ・通勤や通学を自転車にシフトチェンジ。
- ・コロナの給付金があり、10万円前後の自転車が売れた。
- ・エアロバイクで健康維持をする人が増える。
- ・ウーバーイーツ等のデリバリーに自転車活用。
- ・スポーツタイプの電動アシストE-bike売り上げ好調。いろは坂でも楽にのぼれる。
- ・イタリアでは自転車購入の補助金として国民一人当たり6万円交付。

自転車が地方を元気にする 地方創生の可能性を秘めたサイクルツーリズム

観光地で自転車に乗るメリットとしては、健康的であることや、地域の景観をゆったりとしたペースで回れることがあります。また、観光地にとっては、新たな観光資源を活用することができるため、自転車を活かしたまちづくりに積極的に取り組む地域もあります。このような自転車を活用した観光の総称を「サイクルツーリズム」と呼びます。サイクルツーリズムは大きく4つに分けられます。

1. 参加型

特定の日にサイクリストを集めて特定のコースを走る。観光地を自転車で巡り、レースではなく、地元の美味しいものを食べながらゴールを目指す。非常に人気あり。「那須高原ロングライド」「ツール・ド・NIKKO」等。ロングライドのイベントは2,000名～3,000名の参加者がある。

2. 観戦型

宇都宮で有名な「ジャパンカップ」が観戦型の一つ。ジャパンカップは1992年にスタートし、全国から自転車ファンが集まり、宿泊施設や飲食、交通等、経済効果をのばしてき

た。また、さいたま市が「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」をスタートした。国際大会を開催することで、日本中、世界中から人が集まる。自転車レースで地域を活性化する動きが、宇都宮から全国に広がりつつある。

3. 設置型

コロナから生まれた自転車イベントの施策。何千人もの人が集めるイベントができないため、それぞれの人が休日に合わせて自由に参加することができるサイクリングロードなどを設定。霞ヶ浦一周「かすいち」、富士山・裾野一周「富士いち」、淡路島一周「アワイチ」等、全国に設置。立ち寄り箇所、スタート、ゴールが決まっています。アプリと連携し、ゴール時に完走賞等が送られ、抽選で地元の特産等も当たる。

4. ツアー・参加型

現地まで自転車を輸送して自転車のツアーを楽しむパックを提供。サイクルトレイン「B. B. BASE」（自転車専用のスタンドがあり）など人気。自治体、旅行会社と連携。

サイクルツーリズムを発展させることでサイクリスト、自治体双方が恩恵を受けることが出

来ます。サイクリストとしては、自転車で走りたいと思う場所が増えます。自転車を使ったコンテンツが増えるほど楽しみも大きくなります。そして、サイクルツーリズムによって自転車で走る環境の整備が積極的に行なわれます。国内では、自転車で走る環境の整備がまだまだ十分とは言えないため、こういった自治体の取り組みは、自転車に乗る人にとって大きなメリットです。広島県尾道市や栃木県宇都宮市は全国的にも自転車のまちとしてのイメージがついており、サイクルツーリズムの成功例とされています。地方創生が叫ばれる中で、サイクルツーリズムは地方を盛り上げる一手になる可能性を秘めています。全国の自治体が自転車を活用したまちづくりに注目しています。自治体が様々な自転車の施策をすることで、自転車で交流する方が増えていくという非常に良いサイクルが自転車業界ではおこっています。宇都宮ブリッツェンとしましては、日本一のプロチームであり続けることはあたりまえなのですが、もうひとつ、自転車は子供からお年寄りまで生涯スポーツとして楽しめる乗り物ですので、サイクリストやこれから自転車をはじめの人達にとって、優しいまちづくりを、行政と連携する形で進めていきたいと思っています。